

# 赤十字新聞

The Red Cross Journal Japanese Red Cross Society publication

編集・発行／日本赤十字社 企画広報室 〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3 TEL.03-3438-1311 一部20円

Nov 2009

Vol.834 http://www.jrc.or.jp



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



地震で被災したスマトラ島パダン近郊。3人の日赤職員が現地入り

9月下旬から10月上旬にかけて、アジア各地とサマア諸島が地震や台風、洪水に襲われ、数百万人が被災しました。死者・行方不明者が数千人に達する事態となつていきます。日本赤十字社では国際赤十字と連携し、救援・復興活動を支援しています。9月30日と10月1日に発生したスマトラ島沖地震は同島西部のパダンに死者・行方不明者1000人以上の被害をもたらしました。日赤は日本から医師1人、インドネシアで活動中の日赤職員2人をパダンに緊急派遣。1000万円の資金援助と8000万円相当の物資援助も行いました。台風16号で被害を受けたのはフィリピンとベトナム。両国とも死者・行方不明者600人以上という深刻な事態となりました。日赤は看護師2人をフィリピンの被災地へ派遣し、1100万円の資金援助と900万円相当の物資も支援。ベトナムには国際赤十字の要請に応え1400万円を支援しました。



フィリピンで避難所となった小学校での救護にあたった西村看護師 (神戸赤十字病院)

9月下旬から10月上旬にかけて、アジア各地とサマア諸島が地震や台風、洪水に襲われ、数百万人が被災しました。死者・行方不明者が数千人に達する事態となつていきます。日本赤十字社では国際赤十字と連携し、救援・復興活動を支援しています。9月30日と10月1日に発生したスマトラ島沖地震は同島西部のパダンに死者・行方不明者1000人以上の被害をもたらしました。日赤は日本から医師1人、インドネシアで活動中の日赤職員2人をパダンに緊急派遣。1000万円の資金援助と8000万円相当の物資援助も行いました。台風16号で被害を受けたのはフィリピンとベトナム。両国とも死者・行方不明者600人以上という深刻な事態となりました。日赤は看護師2人をフィリピンの被災地へ派遣し、1100万円の資金援助と900万円相当の物資も支援。ベトナムには国際赤十字の要請に応え1400万円を支援しました。

をもたらし、400万人以上が被災。また、9月29日に発生したサマア諸島沖地震では、15万人が被災しました。日赤は、国際赤十字を通じて西国にそれぞれ200万円、830万円の資金援助を行いました。10月2日から受付開始したスマトラ島沖地震救援金に対し、10月26日までに1億3570万円をお寄せ頂いています。(関連記事2面に)

## 赤十字が直ちに支援の手差し伸べる

相次ぐ自然災害、やりきれぬ思い

## 考えよう Our World. Your Move.

### 人間が大切にされる世界をめざして

#### 赤十字シンポジウム2009



「人を思いやる力」が「世界に」をテーマにした「赤十字シンポジウム2009」が10月24日、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開かれました。年末の「NHK海外たすけあい」に向けて日本赤十字社とNHKが共催したもので、約430人が参加。紛争や貧困・格差など国内外の人道問題の現状と解決策について4人のパネリストらが、それぞれの視点から議論を深めました。

パネリストは、東京大学大学院教授の姜尚中さん、タレントの大沢あかねさん、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日

「人を思いやる力」が「世界に」をテーマにした「赤十字シンポジウム2009」が10月24日、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開かれました。年末の「NHK海外たすけあい」に向けて日本赤十字社とNHKが共催したもので、約430人が参加。紛争や貧困・格差など国内外の人道問題の現状と解決策について4人のパネリストらが、それぞれの視点から議論を深めました。

パネリストは、東京大学大学院教授の姜尚中さん、タレントの大沢あかねさん、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日

「人を思いやる力」が「世界に」をテーマにした「赤十字シンポジウム2009」が10月24日、東京都千代田区の東京国際フォーラムで開かれました。年末の「NHK海外たすけあい」に向けて日本赤十字社とNHKが共催したもので、約430人が参加。紛争や貧困・格差など国内外の人道問題の現状と解決策について4人のパネリストらが、それぞれの視点から議論を深めました。

パネリストは、東京大学大学院教授の姜尚中さん、タレントの大沢あかねさん、ヒューマン・ライツ・ウォッチ日

## LOVE in Action PROJECT スタート

人気DJ山本シュウさん先頭に



日本赤十字社は若者への献血推進を図る新たな事業として、「LOVE in Action PROJECT」を今年10月1日から来年6月30日までの9カ月間、全国で展開中です。人気ラジオ

「LOVE in Action」のロゴマークは、「愛=ハート=血液」をイメージ



「LOVE in Action」のロゴマークは、「愛=ハート=血液」をイメージ

赤十字シンポジウム2009

世界を知り、新たな一歩を踏み出そう

今、人道を巡り何が起きて... 赤十字シンポジウム2009



井上忠男さん

「スリランカの内戦では、政府の定めた攻撃禁止地域に避難している人々に向けて軍が砲撃し、赤十字マークを掲げた病院も攻撃された。...

授の井上忠男さんは、こうした戦いが世界では常時40カ所近い地域で発生している、その犠牲者の9割が民間人であることを指摘しました。

「池上彰さんは、「戦争報道への国民の関心が低く、テレビ局が報道を敬遠していることも一因」と分析。...



池上彰さん

足元の人道問題

日本でも「自爆テロ」が

「秋葉原の通り魔事件など、市場原理主義からこぼれた弱者の暴発事件が続いている。...



姜尚中さん

井上さんも秋葉原事件とイラクやアフガンの自爆テロとの類似性を指摘し、「追い詰められた人が社会を道連れに自爆している」と分析します。

スを見ながら、「被害者にならなくて良かった」と安心する自分がある。いじめや電車内のトラブルでも、巻き込まれたくないと何もできなかったことがある」と弱い自分の心情を語りました。

赤十字の役割

振りかざさない「正義」



土井香苗さん

非人道的行為が後を絶たない世界にあって、政府の果たす役割も議論になりました。

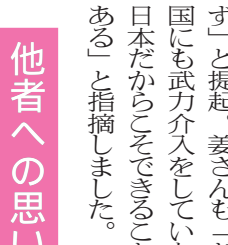
各国の人権侵害の監視活動に取り組み土井さんは「日本政府が経済力に見合った発言をすれば、人権や人道に関する大きな役割を發揮できるはずだ」と訴えました。



大沢あかねさん

非人道的な出来事をニュースで見たり、遭遇したときに、一瞬でも「ひどい」と感じるだけでも大切と強調。...

これに対して井上さんは、赤十字のアプローチが、国連や政府と異なっていることを次のように強調しました。「赤十字は反政府勢力からも中立の存在として認められなければならない。赤十字の原則に『正義』がないのもそれが理由。正義は相対的なものであり、それぞれの立場で変わってくるからだ」



他者への思いやり

見えないキズナに気づこう

こうした時代に一人ひとりに求められる行動は何か。赤十字国際委員会の職員としてイラクで救急医療の教育に携わる京都第二赤十字病院看護師長の小川里美さんが、「人を育てること、そして人と人をつないでいくことが、赤十字の活動では大切」とその取り組みを報告しました。

見えない社会のキズナに気づいた」と体験を語りました。こうした報告を受けて、大沢さんは「私にも何かできる立場でできることは違うがそれでいい」と一歩を踏み出す大切さを訴えました。



イラクで活動中の看護師・小川里美さん

群馬県青年赤十字奉仕団の石原浩毅さんは「ボランティア活動に一歩を踏み出すことは勇気がいるが、経験したこと目には

「日本のみなさんから寄せられた救援金で買った備蓄物資が本当に役に立ちました」と語るのは日赤のイン

日赤看護師2人が避難所で救援活動

避難所となった学校の教室は人と物、洗濯物やゴミであふれ返り、体調を崩す人が多数。感染症の拡大も心配される事態に...



小学校で衛生教育を行う勝占看護師

しかし、避難所は小学校のため、使用期限が限られています。今後の生活不安から頭痛や不眠を訴えるケースもあり、「こころのケア」の必要性は明らかでした。

スマトラ島地震 役立った！3年前の災害での救援物資

9月30日と10月1日、立て続けに襲った地震で、建物の崩壊や山崩れなどによる多数の死者・行方不明者を出す甚大な被害を受けたスマトラ島西部。...

「日本のみなさんから寄せられた救援金で買った備蓄物資が本当に役に立ちました」と語るのは日赤のイン



五島三保子さん

「救援金を直後の支援だけ係なくすべての人に平等に支援を行う団体。こうした誤解を受けたい注意が求められていると痛感しました。...

10月2日、首都マニラから車で2時間のマリキナ市に到着しました。木はなぎ倒され、家は全壊。道路はゴミであふれています。被災者は小学校の教室で避難生活を送っています。...

ドネシア駐在員、五島三保子さん。10月1日に被災地、パダンに入り、救援・支援に奔走しました。

でなく、防災に回ってきたことで、今回発生した地震にも役立っていることができた」と五島さんはこれまでの復興支援の成果を語ります。

# 皇后陛下のお誕生日に 手拭いのお見舞い

## 長崎原爆病院の入院患者らに

日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下から、麦穂の模様があしらわれた手拭いが日本赤十字社に御下賜されました。日赤は毎年、10月20日の皇

后陛下の誕生日にあわせて御下賜物を配付しています。今年、山田赤十字老人保健施設・虹の苑(三重)、特別養護老人ホーム・鶯鳴荘(岩手)、

同彩華園(埼玉)、同大寿園(福岡)、同錦江園(鹿児島)、長崎原爆病院(長崎)、長崎原爆諫早病院の7施設に配られました。



朝長万左男院長から手拭いを受けとる引地さん



今年は麦穂の模様に柄も一新

長崎原爆病院に入院している引地智恵子さん(77歳)は「突然でびっくりしましたが頂けて嬉しうです。療養の励みになります」と感謝と喜びの気持ちをあらわしています。

# タッチパネルで簡単募金 コンビニのファミマでスタート

日本赤十字社への募金が10月26日から、コンビニエンスストア大手、ファミリーマートにある情報端末「Famiポート」を使って簡単にできるようになりました。

現在日赤への募金はさまざまな方法で実施されていますが、今回新たにスタートしたのは、店頭で募金箱と同じような感覚で募金ができる「Famiポート募金」です。

全国約7500店舗のファミリーマートにある端末「Famiポート」は、チケット購入などで使われているの。タッチパネルで募金先や募金額を選び、レジで支払うという仕組みです。

これまでのコンビニを利用した募金は、あらかじめホームページに名前、住所利用するコンビニ名などを入力し、発行された番号をコンビニに



Famiポートのトップ画面から「募金受付」のボタンを押します。次に出てくる「募金サービス」の画面(写真)で日赤を選び、進んでください。

持参し募金する方法でした。新しい方法では、思い立ったらすぐファミリーマート店頭で直接募金ができるようになります。格段に便利になりました。

当面は日赤の事業資金への募金が対象ですが、12月には「NHK海外たすけあい」の募金もFamiポートでできるようになる予定です。

## 常任理事会開催報告

平成21年10月16日、本社において平成21年度第6回の常任理事会が開催されました。審議結果は左記のとおりです。

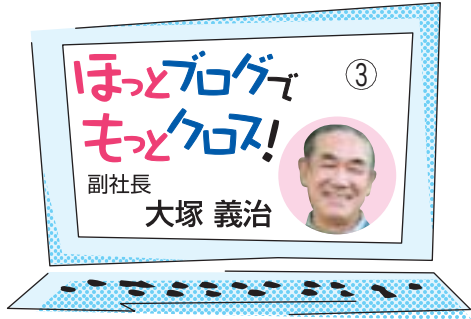
### 付議事項

予算の補正について  
(島根県支部社屋の改築にかかる一般会計歳入歳出予算の補正、中町赤十字病院の借入金繰上償還にかかる医療施設特別会計歳入歳出予算の補正)

資金の借入について  
(中町赤十字病院の借入金繰上償還にかかる資金の借入)

理事会に付議する事項について  
(岡山赤十字病院増築などに伴う土地取得にかかる医療施設特別会計歳入歳出予算の補正)

審議の結果、予算の補正及び資金の借入については原案のとおり議決され、理事会に付議する事項については、原案のとおり理事会に付議することについて了承されました。また、熊本赤十字病院の施設整備計画、アジア・大洋州地域台風・地震災害への対応、日本赤十字社の老人福祉事業、予算の補正にかかる9月分の社長専決事項の決定状況について、それぞれ報告しました。



▼プロフィール  
昭和22年生まれ、栃木県出身。元厚生労働事務次官。平成17年から日本赤十字社副社長。趣味は読書で、自身の読書遍歴をまとめた「遊歩入夢 文庫の香り」(弓立社)の著書がある。

## ◆私たちが助けられている

前号の赤十字新聞でも報じられていますが、昭和の大横綱・大鵬親方(納谷幸喜さん)が40年間も続けてこられた献血運搬車「大鵬号」の寄贈が70台目となり、日赤本社で贈呈記念式典が行われました。

大鵬親方に、自分たちの深い感謝の気持ちをどうすればお伝えできるか、若いスタッフを中心に皆が真剣に考え、議論が繰り返されました。

そして当日、全国の血液センターからのお礼の言葉などを紹介し、最後は250人の参加者全員による「いのちのリズム」の大合唱。合唱サークルのメンバーは、この日のために、仕事の後などに練習を重ねてきたのです。

職員たちの熱い思いは、うまく伝えられたでしょうか? 私は、親方も十分に受け止めて下さったと考えています。

以前、ある支部の職員の方に、こんな話を聞きました。

小学生の頃、大きな水害で被災したことがあるのだそうです。心細く、不安で不便な避難所での生活…。そんなと

き、救援団体、ボランティア、被災を免れた近隣の人々、自治体の職員など多くの人々による懸命な救援・救護活動が、子供心にもほんとうに心強かったといいます。国から担当大臣も見舞いと激励に訪れ、「いま、何が一番ほしい?」と彼にたずねました。

「カレーライスが食べたい」と彼は答えたそうです。しばらくして届けられた大量のカレーライス。後にも先にも、あれほどおいしいカレーは食べたことがないそうです。

そして彼は、苦しいときに助けてもらった人間は、人々の優しさと支援のありがたさを生涯忘れることはない、と実感を込めて言うのです。

「人間を救うのは、人間だ。私たち赤十字の掲げる標語

ですが、私たちもまた、多くの人々に助けられています。大鵬親方の温かい気持ちを、私たちは記憶に留め、決して忘れることはないでしょう。

この「ブログ」へのご意見歓迎します。メール・アドレス <tsukablog@jrc.or.jp> です。

## アフガニスタン

# 笑顔がやわく子どもたちに

# 平和な未来を

## 故・伊藤和也さんの母 順子さんが写真集を寄贈

アフガニスタンでの農業支援の途中、武装グループの凶弾に倒れた伊藤和也さん(当時31歳)の写真集「ダフエヌールの子供たち」(石風社)がこのほど、伊藤さんの母、順子さんから日本赤十字社に寄贈されました。順子さんは地元静岡県掛川市で赤十字奉仕団に参加しています。

和也さんは2003年12月、アフガニスタンやパキスタンで医療・農業支援を行っているペシャワール会(事務局・福岡市)からアフガニスタンに派遣され、用水路建設

や試験農場での支援活動に従事。昨年8月26日に武装グループに襲われました。

「子どもたちが将来、食料のことで困ることがない環境に少しでも近づけることができよう、力になりたい」と願っていた和也さんは、農業支援のかたわら、多くのアフガニスタンの子どもたちを写真に収めていました。

写真集のなかの子どもたちは長く続く戦乱でも笑顔を保っています。とくに、試験農場の菜の花畑で伊藤さんのカメラに向かってほほえむ少



生き生きと活動していた伊藤和也さん

もらったことを願っています。アフガニスタンの子どもたちの瞳がとて輝き、澄んでいることを知っていると語っています。

日本赤十字社では、アフガニスタン南部のカンダハールで赤十字国際委員会が支援するミルワイズ病院に、医師、看護師、助産師、薬剤師を派遣するとともに、支援の資金拠出も行っています。



研修に励むチカさん

姫路赤十字病院で学んでいるのは、チカさん(1サターイカシタフアルさん、35歳)とスーさん(フルルイさん、31歳)です。2人ともインドネシアで看護師として働いてきましたが、「日本の高い看護技術を知りたい」と来日。今年2月から同院看護副部長・柴田由美

### 病院と学校が共同でバックアップ

政府間協定に基づきインドネシアとフィリピンから看護師候補者を受け入れる事業が昨年度からスタートしました。日本赤十字社では現在、全国9の日本赤十字病院で11人が就労(研修中)。各病院の特色をいかして日本の看護師資格取得をめざしています。特に病院と看護学校が連携して進める指導は赤十字のネットワークを生かしたもので注目をされています。

### 外国人看護師候補者が日赤病院で研修中！

外国人看護師候補者が日赤病院で研修中！インドネシアとフィリピンから。看護技術を学びたい。日本の高い看護技術を知りたい。

#### キャリア開発ラダー 各レベルの到達目標

- V 施設全体に影響を及ぼしながら医療の質向上をもたらすことができ、赤十字事業が推進できる(専門看護師の能力が発揮できる)
- IV 看護部門全体に影響を及ぼしながら医療の質向上をもたらすことができる(認定看護師の能力が発揮できる)
- III 自部署でリーダーシップを発揮でき、スタッフの指導に関わることができる。災害時の救護活動に従事できる
- II 自部署で自立して看護活動ができる
- I 指導や助言を受けながら看護活動ができる

※認定看護師、専門看護師は日本看護協会の資格認定制度

キャリア開発ラダーの3段階をイメージしています。実践能力に応じてレベルIからIIIまで段階があり、赤十字病院ではレベルIIIの能力を持つキャリア・アップを目指しています。

医療が高度化し、看護師の専門化がすすむなか、看護師一人ひとりにきめ細かなキャリア開発が求められています。全国9の赤十字病院では平成18年度にキャリア開発ラダーを導入。赤十字看護師としてのキャリア・アップを支援しています。

2人が病院に来た頃は「外国の人にケアを任せて大丈夫なの？」という患者さんからの不安がありました。しかし、お二人の頑張りや患者の皆さんや職員も伝わりました。柴田さんは「患者さんの悩みを真剣に聞いてあげたり、2人とも一生懸命。どの患者さんにも丁寧な対応ができています。」

### 周囲に波及する勉強熱心

2人が病院に来た頃は「外国の人にケアを任せて大丈夫なの？」という患者さんからの不安がありました。しかし、お二人の頑張りや患者の皆さんや職員も伝わりました。柴田さんは「患者さんの悩みを真剣に聞いてあげたり、2人とも一生懸命。どの患者さんにも丁寧な対応ができています。」

### わかるまで繰り返す日本語

しかし、2人の研修には困難もありました。最大のハードルは「日本語」です。昨年8月の来日当初は、2人ともまったく日本語が話せませんでした。それから半年間の日本語研修を経て、病院に配属されましたが、「その時点でも厳しかった」と柴田さん(1)は話します。「患者さんの言っていることが分からない」と相当ショックを受けていました(同)。

### 外国人看護師の受け入れ制度

外国人看護師の受け入れは、日本とインドネシア、日本とフィリピンの経済連携協定(EPA)に基づいています。一定の要件を満たす人を「看護師候補者」として入国許可。候補者は病院で看護助手として就労しながら、日本での国家資格取得を目指します。入国者数は当初2年間、西国とも最大400人ずつ。就労期間は5年以上で、受験回数は最大3回と決められています。日本赤十字社では、足利、静岡、高山、名古屋第一、姫路赤十字病院、和歌山医療センターで受け入れています。



看護専門学校で学ぶチカさん(左)とスーさん(右)

### 国家試験へ「漢字」の壁

2人の目標は日本の看護師国家試験への合格ですが、その点については、実はまだ課題が残っています。それは漢字の学習です。日赤には漢字がない。インドネシアには漢字がない(チカさん)ので、読み書きの練習が欠かせません。試験問題が難しく、理解できないのだから当然です。外国人看護師候補者の方は優秀な方たちですが、それでも3年の間に合格するのは大変なことです。柴田さんは「今年2月の第1回の国家試験は2人を含め全員が不合格でした。試験問題が難しく、理解できないのだから当然です。外国人看護師候補者の方は優秀な方たちですが、それでも3年の間に合格するのは大変なことです。柴田さんは「今年2月の第1回の国家試験は2人を含め全員が不合格でした。試験問題が難しく、理解できないのだから当然です。外国人看護師候補者の方は優秀な方たちですが、それでも3年の間に合格するのは大変なことです。」

### 外国人看護師の受け入れ制度

外国人看護師の受け入れは、日本とインドネシア、日本とフィリピンの経済連携協定(EPA)に基づいています。一定の要件を満たす人を「看護師候補者」として入国許可。候補者は病院で看護助手として就労しながら、日本での国家資格取得を目指します。入国者数は当初2年間、西国とも最大400人ずつ。就労期間は5年以上で、受験回数は最大3回と決められています。日本赤十字社では、足利、静岡、高山、名古屋第一、姫路赤十字病院、和歌山医療センターで受け入れています。

### 外国人看護師の受け入れ制度

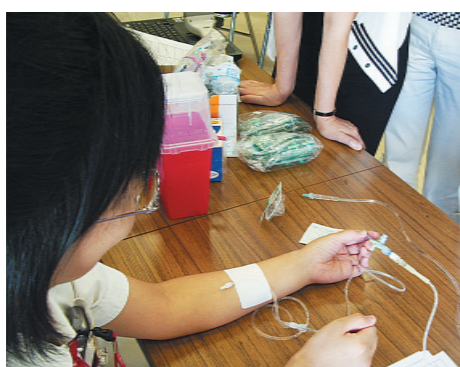
外国人看護師の受け入れは、日本とインドネシア、日本とフィリピンの経済連携協定(EPA)に基づいています。一定の要件を満たす人を「看護師候補者」として入国許可。候補者は病院で看護助手として就労しながら、日本での国家資格取得を目指します。入国者数は当初2年間、西国とも最大400人ずつ。就労期間は5年以上で、受験回数は最大3回と決められています。日本赤十字社では、足利、静岡、高山、名古屋第一、姫路赤十字病院、和歌山医療センターで受け入れています。

# いのちと健康を守る 赤十字病院の挑戦

## 看護のより一層の充実のために



ラダーについての説明書と受けた研修を記録するファイル。入職する看護師全員にセットしている



注射針をさすなどの実技も研修する

### 看護不足に お助け看護師を派遣

看護職員・看護教員が足りない医療・教育施設に、余裕のある施設から看護職員・教員を派遣する「看護職員派遣システム」を日本赤十字社が導入しています。派遣先は、ふだんと向かって言えないようなことがからでも評価します。評価する際のポイントは、良い所をほめて伸ばすこと。本人も気づいていない良い点を伝えることで、経験の浅い看護士も自分の看護に自信が持てるようになるという。評価を受けた看護士のアンケートでは「自信が持てた」「次の目標が明確になった」などの感想が。評価した側からも「勉強になった」との声が出されています。

### キャリアアップへの期待も 来春から本格実施

看護職員・看護教員が足りない医療・教育施設に、余裕のある施設から看護職員・教員を派遣する「看護職員派遣システム」を日本赤十字社が導入しています。派遣先は、ふだんと向かって言えないようなことがからでも評価します。評価する際のポイントは、良い所をほめて伸ばすこと。本人も気づいていない良い点を伝えることで、経験の浅い看護士も自分の看護に自信が持てるようになるという。評価を受けた看護士のアンケートでは「自信が持てた」「次の目標が明確になった」などの感想が。評価した側からも「勉強になった」との声が出されています。

### 看護不足に お助け看護師を派遣

看護職員・看護教員が足りない医療・教育施設に、余裕のある施設から看護職員・教員を派遣する「看護職員派遣システム」を日本赤十字社が導入しています。派遣先は、ふだんと向かって言えないようなことがからでも評価します。評価する際のポイントは、良い所をほめて伸ばすこと。本人も気づいていない良い点を伝えることで、経験の浅い看護士も自分の看護に自信が持てるようになるという。評価を受けた看護士のアンケートでは「自信が持てた」「次の目標が明確になった」などの感想が。評価した側からも「勉強になった」との声が出されています。

「評価は、ふだんと向かって言えないようなことがからでも評価します。評価する際のポイントは、良い所をほめて伸ばすこと。本人も気づいていない良い点を伝えることで、経験の浅い看護士も自分の看護に自信が持てるようになるという。評価を受けた看護士のアンケートでは「自信が持てた」「次の目標が明確になった」などの感想が。評価した側からも「勉強になった」との声が出されています。



齋木瀬理菜さん

### 目標までの「道」を歩く

「昔は高校卒業後、看護専門学校に進み看護師になるのが一般的でした。しかし今は看護大学を出た人、主婦や社会人経験してから看護師を目指す人もいます。看護師としてスタートする時の立ち位置が違います。」

### 幅広い視野を身に付けたい

「看護師になってからの2年間であらうことが出来るようになったと振り返ることができ、次はこんな看護師をめざそうと目標を持つきっかけになりました。研修で日頃の疑問が解けて、自分が実践している看護の意味が分かるのが面白いです。」

「研修は新人のつもりで受けました。心配もありませんでしたが、一対一の指導で安心して学べるのは静岡赤十字病院の看護士・由田真紀さん(30歳)。5年のブ

### 求められるワークライフバランス

復職された方が働き続けられる環境の整備も大切。望月さんは「無理なく働ける勤務日と勤務時間を選択してもらっています。子どもの夏休みに合わせて、その期間の全体を認めるケースも」とワークライフバランス(仕事と家庭の調和)を強調します。

### 潜在的な看護士研修

看護士資格を持ちながらも、医療現場を離れている元看護士・教員を確保するプログラム。潜在的な看護士研修を日本赤十字社は2年前から始めています。赤十字施設への就職条件としておらず、他の医療施設への就職も認めています。看護士不足解消には、この方々の活用が不可欠といわれています。しかし、現場を長期離れてしまっている方が多いのです。「看護士の進歩に付いていけないのでは」と、どの不安を感じることが多いのです(看護士)。

### 潜在的な看護士研修

看護士資格を持ちながらも、医療現場を離れている元看護士・教員を確保するプログラム。潜在的な看護士研修を日本赤十字社は2年前から始めています。赤十字施設への就職条件としておらず、他の医療施設への就職も認めています。看護士不足解消には、この方々の活用が不可欠といわれています。しかし、現場を長期離れてしまっている方が多いのです。「看護士の進歩に付いていけないのでは」と、どの不安を感じることが多いのです(看護士)。

「看護師になってからの2年間であらうことが出来るようになったと振り返ることができ、次はこんな看護師をめざそうと目標を持つきっかけになりました。研修で日頃の疑問が解けて、自分が実践している看護の意味が分かるのが面白いです。」

# あなたの命を救いたい! 今日もどこかで救護訓練

日本赤十字社の活動の大きな柱の一つ災害救護。いつ起こるか分からない「もしも」に備え、各県支部ではさまざまな状況を想定した救護訓練に取り組んでいます。

10月1、2日、関東甲越の各支部と日赤本社、福島県支部が参加した訓練が茨城県ひたちなか市で行われました。訓練は大地震を想定したもので、総合シミュレーションには、茨城DMAT、市消防署、



トリアージの机上訓練も(茨城)



dERU内の処置訓練(高知)



初めての無線体験にドキドキ(三重)

## 新感覚の 献血ルーム

### 開設

近未来  
「akiba:F」  
秋葉原

東京・秋葉原地区に2つ目の献血ルーム「akiba:F」が10月1日にオープン。休憩スペースにホログラム(3D映像)を設置するな



akiba:Fは、JR秋葉原駅電気街口徒歩1分

ど近未来型のインテリアも注目を集めています。秋葉原はアニメなどのサブカルチャー発信地として人気で、街を訪れる人の数も急増中。アキバらしさあふれる献血ルームの開設で、更なる献

血者増が期待されています。ルーム内の展示の一部は一般の方や企業の無償協力を受けたもの。フロア全体は750平方メートルと広く、献血者がゆったりと休憩できるようになっています。

## カフェスタイル

鳥取

鳥取県赤十字血液センターがイオン日吉津ショッピングセンターに開設した「献血ルームひえづ」は、県内初のショッピングモール内献血ルー



「献血ルームひえづ」の明るいイメージの受け付け

ムです。「身近な場所、身近な献血を」をキャッチフレーズに、カフェ風のカウンターを設置したおしゃれな雰囲気。待合室の飲み物は無料で、漫画やお菓子のサービスも!

# 赤十字の現場から



昨年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で、栗原市地区栗駒赤十字奉仕団



(宮城県)は被災翌日から1カ月以上にわたり、救護活動者への炊き出しや、被災者への配膳などで活躍

このほど、平成21年防災功労者防災担当大臣表彰を受賞しました。

## 炎天下で続けた炊き出し(岩手・宮城)

栗原市地区栗駒赤十字奉仕団代表 小林ふさ子さん

テレビを見ていた時でした。「ドカーン」というものすごい音と同時に、座っていたキャスター付きのいすぎが倒れ、ストロブの光が落ちてきました。「暑い!」。暑さで全員が汗びっしょりの作業でしたが、不平を

17日からは、被害が特に大きかった耕英地区の人々が入る避難所「みちのく伝創館」での食事の世話を行いました。これには周辺地区の奉仕団も協力してくれました。被災者が仮設住宅に入居した7月20日まで活動は続きました。

## 災害に強い 新会館を オープン

千葉

新しい千葉赤十字会館が完成し、9月17日に落成式を行いました。日本赤十字社千葉支部と千葉赤十字血液センター千葉出張所が入る6階建ての社屋です。



ギャラリー糸杉

「ギャラリー糸杉」と名づけられた展示コーナーは、来訪者に赤十字の理念や活動を知ってもらうためのもの。赤十字の歴史や国際人道法などを紹介する「知るコーナー」、災害現場の救護所を再現した「体験コーナー」、赤十字へのメッセージを展示した「共感コーナー」、奉仕団活動や献血などへの参加を呼びかける「行動のコーナー」を順に配置しています。



赤十字の花が患者さんを迎えてくれます

## 浜松赤十字病院 に花の赤十字

静岡

浜松赤十字病院にこのほど、浜松市の浜北赤十字奉仕団から521鉢の花が寄贈されました。シクラメン、シニア、コスモス、ベコニア、セニチソウの5種類の花は、奉仕団員によって正面玄関の花壇へ植栽されました。

完成した花壇の中央には、赤と白のシクラメンで赤十字マークが描かれています。色鮮やかな花々が患者さんの気持ちに明るく、療養の励みになることが期待されています。

大正11年を  
駆け抜ける  
運動会

伊香郡青少年赤十字団総会・運動会が10月1日、木之本町町民グラウンドで開催されました。同総会・運動会は今



会場を盛り上げた熱い声援

## 小学生が 老人ホームの 一日園長

福岡

特別養護老人ホーム豊寿園では9月19日に、松ヶ枝北小



森繁さんから入所者にお祝状



「LOVE in Action プロジェクト」のリーダー DJ 山本 シュウさん

「現状をきいてショックを受けた。10代、20代の献血者がこの10年で45%も減少していたのが、ありえないと思った。許されへんと思った」

「現状をきいてショックを受けた。10代、20代の献血者がこの10年で45%も減少していたのが、ありえないと思った。許されへんと思った」

クロスアクトひと

プロジェクトのリーダーをつとめ、お節介りなおばさんになつて

超お節介りなおばさんになつて

戻す時。自分が愛を出せば相手の愛を引き出せる。相手から憎悪を受ければ自分の中から憎悪が引き出され、憎悪の連鎖がはじまるんです。



シルバー介護教室を開催

「看取り」テーマに介護教室 大阪 大阪府支部は9月10日、毎年恒例の赤十字シルバー介護教室を開催しました。

中高生に「命のりレー」出前教室

愛媛県赤十字血液センターは、中高生を対象に献血の大切さを訴える「命のりレー」の出前教室を9月からスタートしました。

心からの寄付に感謝

台湾台風被災者救済金に対し、岩手県職員でつくる「台湾台風災害救済募金会」が186万5299円の寄付を集め、9月28日に県庁内で支部に贈呈されました。



内田選手から手渡された贈呈目録

内田潤選手会長は、「少ない額かもしれませんが赤十字活動に協力できたことがうれしい。このお金は、私たち選手会だけでなく、新潟サポーターからの気持ちです」と話しています。



洪里会長（中央左）から日赤大阪府支部へ救済金の贈呈

より、台湾台風被災者救済金として2832万6500円が日本赤十字社大阪府支部に寄せられます。

ルイ・ヴィトンが赤十字支援チャリティ

ルイ・ヴィトンが赤十字支援チャリティ。今から150年前、赤十字の思想誕生と時を同じくし

せられました。救済金は、日赤本社を通じて台湾の赤十字・ウィントンでは、これを記念してフランスとアメリカ、日本

県支部初 宅地の寄付

浅尾弘さんから10月1日、約280平方メートルの宅地が、徳島県支部に寄付されました。

Voice & 懸賞クイズ

◆家族で感染予防―清水真幸さん（和歌山県白旗郡）10月号3頁の「防ごうインフルエンザ 4つの基本対策」を守って、家族で感染予防をしています。

◆大鵬さんに感動―海ぶどうさん（静岡県榛原郡）納谷さん（元大鵬親方）が40年間コツコツと70台の献血運搬車を寄贈してくださった記事に、体中が感動に包まれました。

◆心があったかくなる献血―山崎愛衣さん（越谷市）健康だから献血できるのだ。そのことに感謝。まだ16歳だけど3回も献血した。誰かの中で生きている「血液」。



今月号のプレゼント

「訂正とお詫び」 「赤十字新聞」10月号7面の「Voice & 懸賞クイズ」の中で、日赤サービスの電話番号を「03-3737-7514」とご案内しましたが誤りでした。正しくは「03-3437-7514」です。訂正し、お詫びします。

11月号懸賞クイズ 問題①山本シュウさんが送っているメッセージ「We are」に続くことばは？

10月号懸賞クイズの答え 問題① 70 問題② 一粒の種

# 人を育て、未来をつくる

## 日赤支援で災害看護教育と青少年ボランティア育成

### 2004年スマトラ島沖地震・津波災害復興支援



「復興支援の成果を根づかせるには、人材育成が不可欠」——こう語るのは日本赤十字社のスマトラ島沖地震・津波災害復興支援の現地駐在員、北島慶子さん。災害看護教育支援事業と青少年教育等支援事業を担当してきました。人づくりにかかわる2つの事業は、それぞれ今年6月と8月に終了しましたが、9月末には再び大地震がスマトラ島を襲いました。支援事業で育った人材が災害復興にどう活躍していくのかが注目されています。



北島慶子さん

#### ◆毎年360人の災害看護看護師を養成

2004年12月のスマトラ島沖地震・津波災害で最大の被害を受けたのが、スマトラ島北部のアチェ州です。ところが、医師や看護師も被災したことで、十分な救護活動が行えませんでした。「看護師教育に災害看護が盛り込まれておらず、救護の知識や技能が不十分だったため、救える命を救えなかったともいわれています」と北島さんは指摘します。

その反省に立ち、インドネシア赤十字社(PMI)から日赤へ要請があり、2006年4月から災害看護教育支援事業が始まりました。アチェ州にある4つの看護学校を対象に、日赤九州国際看護大学の教員を派遣し、現地の看護学校教員への研修を行ったほか、インドネシア語の「災害看護テキスト」を作成。専門図書や教育資機材も提供しました。

昨年秋からは各看護学校で「災害看護」の授業がスタートしました。毎年約360人の生徒がこれを学んでいく予定です。

#### ◆信頼関係の構築から始まった人づくり

しかし事業には困難も。北島さんは、「支援を受ける現地の教員と私たちとの間に信頼関係が不足していたことに途中で気づきました」と振り返ります。

アチェ州はインドネシアからの独立を目指す内戦が長年続いた地域。「その結果、教育水準は他の地域に比べて低く、看護学校教員のレベルも十分ではありませんでした。しかし、専門家としてのプライドは高いので、自分たちの知識や技術に間違いがあっても、そ

れを認めようとはしません。これを突破するためには、お互いの信頼関係が不可欠だったんですね」

これらの課題解決のために行ったのが、日本から派遣された指導員による「ほめて育てる指導」。問題点の指摘を否定的に受け止めるのではなく、現状改善の材料として役立つトレーニングや教員自身が自分のレベルを把握するための実習なども行いました。「こうした取り組みを通じて信頼を築け、深い部分で日赤の考え方を理解いただけたと思います」



シンポジウムの参加者

#### ◆政府も救援システムの確立めざす

支援事業の仕上げとして今年6月には「災害看護シンポジウム」を開催しました。この事業立ち上げ当初から運営に携ってきたメンバーが企画・運営を担当。取り組みはメディアにも大きく紹介されました。

日赤九州国際看護大学の村上朋子准教授は「シンポジウムは、災害時の救援システム確立をめざすインドネシア保健省などからも注目を集めました。災害看護教育を全国に展開

する機運も出てきました」と成果を語ります。

#### ◆急成長した青少年赤十字

もう一つの人材育成として取り組まれたのが、PMIが実施する青少年赤十字事業の支援です。



スマトラ島沖地震・津波 キャンプを通じてリーダーシップを育成

災害でのPMIボランティアの活躍に刺激を受け、未来の赤十字ボランティア育成に地元から大きな期待が寄せられました。アチェ州での青少年メンバーはこの3年間に約1.5倍に、指導者は8倍に増えました。

アチェ州の子どもたちについて北島さんは次のように話します。

「とても人懐こいし、元気がいいのに、創造性に欠ける部分があります。長い間の紛争で生活が抑圧されていたことが一因。学校の授業や青少年赤十字の活動でも、上から抑えつける指導が目立っていました」

#### ◆自分で考え、行動する青年を

子どもたちがより自由に自分を表現でき、自らの考えで行動できるような青少年赤十字活動を活性化していく——これが支援事業の目的です。

その成果について北島さんは「感情的だった子どもが自分をコントロールできるようになったり、恥ずかしがりやだった子が人前で話せるようになったり、みんなの成長を実感しています。スタッフからもレベルの高いファシリテーター(メンバーの成長を支援する指導者)が育ってきました」と話します。



救急法を指導する村上准教授

#### 女性が元気なイスラム教の国



女性たちが生き生きと働くバンダアチェの魚市場

インドネシアは人口約2億3000万人の4人に3人以上がイスラム教徒。世界で最も多くのムスリム(イスラム教信者)を抱えています。アチェ州は、とりわけイスラム法に厳格な地域です。「貧しい家庭の子どもは裸足ですが、頭にかぶるジルバ(スカーフ)だけは必ずつけています。健康や衛生よりも、宗教が優先される面があります」(北島さん)

ただし、看護師など専門職、各機関の管理職に就く女性は少なくありません。北島さんは「男女平等が進んでいる」と指摘します。服装もおしゃれ。色鮮やかなファッションが特徴です。



Believe in tomorrow

街ごと波にさらわれ、家族も家も失ってしまった人々が、どのように復興に立ち向かい、笑顔を取り戻してきたのか——スマトラ島沖地震・津波災害から5年、被災地とそこに暮らす人々の復興の様子を記録した写真展「Believe in tomorrow『明日を信じて』」が11

## 復興支援5年の軌跡を写真展とTVで

### 終了迎えるスマトラ島沖地震・津波災害復興支援事業

月7日から東京都千代田区有楽町で開催されます。同月14日にはBS朝日で復興の5年間を描いた特別番組も放映される予定です。

スマトラ島沖地震・津波災害(2004年12月)は死者・行方不明者22万人という空前の被害をもたらしました。この救援のために国民から日本赤十字社に寄せられた寄付は、一つの災害に対するものとしては過去最大の98億6990万円。自己資金などを合わせた総事業費は105億円以上になりました。

今回の写真展とテレビ番組は日赤が5年にわたり進めてきた復興支援が今年度末で終了するのを機に実施するもの。被災者の生活再建と被災地復興に救援金がどう活用されたのかを、国民の皆さまに知っていただくための企画です。

#### ★赤十字写真展

Believe in tomorrow『明日を信じて』

～スマトラ島沖地震・津波災害復興支援、5年間の軌跡～

【日時】11月7日(土)～11月13日(金)

10:00～20:30(初日のみ13:00開場、最終日16:00閉場)

【場所】有楽町マリオン11階 有楽町朝日ホール

#### ★テレビ番組「明日を信じて」

【放送日時】11月14日(土) 15:00～15:30

【放送チャンネル】BS朝日

「AERA」(11/21)「週刊朝日」(11/24)にも5年間の復興支援の特集記事が掲載される予定です。詳しくは、www.sumatra.jpへ。